

上信越高原国立公園

(須坂・高山地域)

指 定 書

及 び

公 園 計 画 書

(環境省案)

平成 年 月 日

環 境 省



上信越高原国立公園

(須坂・高山地域)

指 定 書

(公園区域の変更)



# 目 次

1 変 更 理 由	5
2 地 域 の 概 要	
(1) 景観の特性	6
ア 地形、地質	6
イ 植生	7
ウ 野生生物	7
エ 自然現象	8
オ 人文その他の特殊景観	8
(2) 利用の現況	8
(3) 社会経済的背景	8
ア 土地所有別	8
イ 人口及び産業	9
ウ 権利制限関係	9
3 公 園 区 域	
(1) 公園区域の変更	16
(2) 変更後の公園区域	33



## 1 変更理由

上信越高原国立公園は、群馬県、長野県及び新潟県の三県の県境にそびえる2,000m級の山々を中心とした公園である。昭和24年9月7日に須坂・高山地域を含む谷川・苗場・志賀高原・草津・万座・浅間地域が指定され、昭和31年7月10日に妙高・戸隠地域が編入された。

須坂・高山地域では、指定から60年余りが経過した現在まで、公園区域に係る全般的な見直しは行われていない。このため、この間の土地利用の変化等により公園区域線が不明確となり、変更が必要である部分が生じている。

このような状況を踏まえて、公園区域の全般的な見直し（再検討）を行い、適切な保護及び利用を図るものである。

## 2 地域の概要

### (1) 景観の特性

#### ア 地形、地質

##### (ア) 地形

本地域の東側には、笠ヶ岳、横手山、御飯岳及び四阿山等の2,000m級の山々がそびえる。これらは上信火山帯に属する火山である。笠ヶ岳は溶岩円頂丘であり、特徴的な山容を呈する。四阿山は、山頂北西面に直径約3.5kmのカルデラを有し、浦倉山及び根子岳とともにその外輪山を形成している。一方、御飯岳はこれら二山とは対照的に、著しい侵食を受け火山の原型は不明瞭である。また、御飯岳南方に位置する破風岳は、差別侵食によるメサと呼ばれる台地状の地形を呈している。

稜線より西側には急峻な谷地形が広がっており、松川、樋沢川及び米子川等の源流域となっている。松川は山田温泉より上流部がV字状溪谷となっていることに加え、本流または支流が雷滝及び八滝等の多くの滝を形成している。樋沢川については、その谷筋からの風が通り抜ける鞍部に位置する毛無峠周辺が風衝地となっており、周氷河現象の一種である構造土が観察される。米子川は、源流域に柱状節理の断崖を流れ落ちる不動滝、権現滝及び奇妙滝を有している。

また、地すべり性崩壊跡地と考えられる山田牧場、溶岩台地である破風高原及び根子岳の裾野に位置する峰の原高原等の高原も点在している。

##### (イ) 地質

新第三紀中新世の海底火山活動によるグリーンタフや、海底の広域な隆起をもたらした地下深くから大規模に貫入したマグマにより形成された新第三紀深成岩類が基盤となっている。東側に連なる山地では、この上を新第三紀鮮新世から第四紀中期更新世にかけての火山噴出物が覆っている。

山地は新第三紀中新世にフォッサマグナの海域から隆起した中央隆起帯にあたり、鮮新世末期には激しい火山活動を行い、大量の溶岩を噴出した。このときの火口や火山体を形成した形跡は見つかっておらず、隆起帯に沿う割れ目より噴出したものと考えられている。溶岩は高井火山岩類と呼ばれ、黒色緻密な輝石安山岩を主体としており、広く分布している。後に熱水変質作用を受け、昭和30～40年代まで採掘が行われていた米子・小串・横手山硫黄鉱床の母岩となった。

第四紀前期～中期更新世には、中央隆起帯の脊梁部に位置する四阿火山、御飯火山及び横手火山が活動を行った。いずれも輝石安山岩質の溶岩を噴出しており、それぞれの火山周辺で分布が見られる。



## イ 植生

本地域の植生は、東部山地の高標高地で自然度が高く、西へ標高を下るにつれて代償植生や人工林が増える傾向にある。よって、代表的な自然植生は亜高山帯のものが占めており、シラビソやオオシラビソ、コメツガが優占する亜高山帯針葉樹林やササ自然草原、小面積であるがガンコウランやコケモモ、クロマメノキ、ハイマツ等が生育する高山植物群落や風衝地群落が挙げられる。なかでも亜高山帯針葉樹林においては、県境の山稜線上で日本海側に多いオオシラビソから太平洋側に多いシラビソへの優占種の移行が見られ、学術的価値が高い。代償植生としては、標高が下るにつれダケカンバ、シラカバ、ミズナラと優占種が変化する落葉広葉樹林二次林やササ草原が分布している。人工林ではカラマツやスギが主となっている。

この他特筆すべき植生としては、五味池破風高原における長野県下最大規模の 100 万株ものレンゲツツジ群落や、ブナやミズナラ、シラカバが優占し多種類のカエデも生育する紅葉の名所として名高い松川溪谷林が挙げられる。

## ウ 野生動物

哺乳類では、国指定特別天然記念物であるカモシカや国指定天然記念物であり準絶滅危惧種であるヤマネをはじめとして、ツキノワグマ、イノシシ、ニホンザル、キツネ、アナグマ、タヌキ、ノウサギ、テン、オコジョ、ヒメヒミズ、トガリネズミ等が生息している。イノシシについては、近年獣害が報告されている。

鳥類は生息環境から森林性のものが主となっており、国指定天然記念物であり絶滅危惧IB類のイヌワシや同IB類のクマタカ、準絶滅危惧種のおオタカ等の希少猛禽類や、フクロウ、ホシガラス、カケス、アカゲラ、アオゲラ、ウソ、ルリビタキ、キクイダタキ、カラ類等が生息している。渡り鳥では、カッコウやツツドリ、ジュウイチ、オオルリ、キビタキ、センダイムシクイ等の夏鳥や、シロハラ、ツグミ、キレンジャク、ヒレンジャク、カシラダカ等の冬鳥が確認されている。

爬虫類についての報告は多くないが、アオダイショウ、ニホントカゲ、カナヘビ等が生息しているとされる。

両生類では、準絶滅危惧種のクロサンショウウオや、ハコネサンショウウオ、モリアオガエル、アズマヒキガエル、ヤマアカガエル等が生息している。

魚類や甲殻類については、主要な河川である松川、樋沢川及び米子川が酸性河川であることから少なく、報告はイワナやサワガニ等に限定されている。

昆虫類では、長野県指定天然記念物であり準絶滅危惧種であるミヤマモンキチョウ及びベニヒカゲ、同じく準絶滅危惧種であるヒメギフチョウを含む多種が生息している。

## エ 自然現象

本地域の年間平均気温は、2,000m級の山地で約4℃、山麓部で約9℃である。同様に、年降水量は山地で1,500mm前後、山麓部で900mm前後である。豪雪地帯の南縁に位置しており、山地では積雪量が2mを超すこともあり、10月下旬から6月初旬まで雪に覆われる。

## オ 人文その他の特殊景観

山田温泉、松川溪谷温泉、五色温泉、七味温泉及び奥山田温泉が続く松川周辺地域は本公園を代表する温泉郷の一つとなっている。中でも山田温泉は開湯200年を超え、森鷗外や与謝野晶子ら多くの文人墨客に親しまれてきた歴史をもち、当時の風情を今に伝えている。

また、米子大瀑布の不動滝は、米子瀧山不動寺奥の院とともに古くから山岳修行の場となっており、夏にはみそぎを行う修験者の姿も見られる。

## (2) 利用の現況

本地域では、自然探勝、登山、スキー及び温泉等の利用が行われている。年間利用者数は減少傾向にあったが、近年増加しており、平成20年では約76万人に上っている。

(単位：千人)

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
須坂市	167	131	133	156	244
高山村	496	478	470	496	515
合 計	663	609	603	652	759

## (3) 社会経済的背景

### ア 土地所有別

本地域は、国有地2,626ha (20%)、公有地2,119ha (16%)、私有地8,400ha (64%)となっている。

イ 人口及び産業

(ア) 人口推移

本地域の関係市町村の人口推移は次表のとおりである。増加傾向にあったが、近年は減少している。

(単位：人)

県名	市村名	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
長野県	須坂市	53,611	53,662	53,842	54,207	53,668	52,917
	高山村	7,308	7,342	7,773	7,776	7,654	7,759

(イ) 産業別就業人口

本地域の関係市町村の産業別就業人口(平成17年)は次表のとおりである。須坂市、高山村とも就業者のおよそ半数が第3次産業に従事している。

(単位：人、%)

県名	市村名	第1次産業		第2次産業		第3次産業		就業者総数
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	
長野県	須坂市	3,678	13.1	9,245	33.1	14,985	53.6	27,959
	高山村	964	21.8	1,526	34.4	1,943	43.8	4,433

ウ 権利制限関係

(ア) 保安林

(国有林)

種 類	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
水源かん養	長野県須坂市内 国有林北信森林管理署管内	547.4	昭36. 3. 14 昭46. 3. 29
	長野県上高井郡高山村内 国有林北信森林管理署管内	39.4	昭28. 3. 6
土砂流出防備	長野県須坂市内 国有林北信森林管理署管内	1,248.7	明37. 3. 16 昭36. 3. 31 昭46. 3. 29
	長野県上高井郡高山村内 国有林北信森林管理署管内	790.5	明37. 3. 16 昭51. 3. 18

(公有林)

種 類	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
水源かん養	長野県上高井郡高山村大字牧地内	540.08	昭41. 1. 31
	長野県上高井郡高山村大字奥山田地内	179.6	昭28. 3. 6
土砂流出防備	長野県上高井郡高山村大字牧地内	314.5	明37. 3. 16 明37. 3. 22 大 3. 4. 10 昭57. 5. 1 昭58. 3. 7
	長野県上高井郡高山村大字奥山田地内	216.2	明37. 3. 16

(民有林)

種 類	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
水源かん養	長野県須坂市大字豊丘地内	304.2	昭28. 3. 6 昭31. 11. 20 昭36. 6. 14 昭43. 7. 19 昭57. 6. 8 平元. 9. 25 平4. 9. 25
	長野県上高井郡高山村大字牧地内	1,358.29	明37. 3. 22 昭36. 6. 14 昭41. 1. 31 昭58. 3. 7
	長野県上高井郡高山村大字奥山田地内	470.5	昭58. 12. 15 平3. 1. 28
土砂流出防備	長野県須坂市大字仁礼地内	887.2	明37. 3. 16 明37. 3. 22 大5. 4. 18 大6. 11. 7 昭36. 12. 13 昭47. 7. 14
	長野県須坂市大字米子地内	28.8	昭60. 2. 5
	長野県須坂市大字亀倉地内	178.8	明37. 3. 22
	長野県須坂市大字豊丘地内	292.1	大3. 4. 11 大5. 4. 19 大10. 7. 7 昭43. 8. 3 昭45. 12. 21 昭53. 1. 7

種 類	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
土砂流出防備	長野県上高井郡高山村大字牧地内	603.0	明37. 3. 7 明37. 3. 22 大 3. 4. 10 大 9. 4. 6 昭41. 1. 31
	長野県上高井郡高山村大字奥山田地内	72.2	明37. 3. 16 大 3. 4. 10 大 9. 4. 6 昭36. 12. 13
土砂流出防備兼保 健	長野県須坂市大字仁礼地内	117.3	大 5. 4. 19 大 6. 11. 7
	長野県須坂市大字米子地内	28.8	昭60. 2. 5

(イ) 鳥獣保護区 (県指定)

名 称	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
東	長野県須坂市地内	4,772.0	昭46. 11. 1
高井	長野県上高井郡高山村地内	3,800.0	昭52. 11. 1

(ウ) 史跡名称天然記念物

区 分	名 称	位 置	指定年月日
国指定特別天然記念物	カモシカ	地域を定めず指定	昭30. 2. 15
国指定天然記念物	イヌワシ	地域を定めず指定	昭40. 5. 12

区 分	名 称	位 置	指定年月日
国指定天然記念物	ヤマネ	地域を定めず指定	昭50. 6. 26
県指定天然記念物	ミヤマモンキチョウ	地域を定めず指定	昭50. 2. 24
県指定天然記念物	ベニヒカゲ	地域を定めず指定	昭50. 2. 24
須坂市指定有形文化財	滝山不動寺奥の院	須坂市大字米子1421番地	平 4. 1. 4
須坂市指定史跡	石小屋洞穴	長野県須坂市大字仁礼字仁礼山3164-7	昭47. 3. 1
須坂市指定史跡	奇妙山遺跡	長野県須坂市大字米子国有林北信森林管理署内	平 9. 5. 1
須坂市指定史跡	旧大笹街道峠道	長野県須坂市大字仁礼字仁礼山、峰の原	平12. 4. 1
須坂市指定名勝	米子の瀑布	長野県須坂市大字米子字米子山1422-1 他	昭47. 3. 1
須坂市指定天然記念物	ミヤマツチトリモチ	長野県須坂市大字豊丘字乳山	昭50. 4. 1
須坂市指定天然記念物	仙仁山のハルニレ	長野県須坂市大字仁礼字山ノ神	昭61. 10. 17
高山村指定史跡	湯倉洞窟遺跡	長野県上高井郡高山村大字牧	平13. 3. 30
高山村指定名勝	雷滝	長野県上高井郡高山村大字奥山田	平15. 3. 1

(エ) 河川法適用河川

一級河川

(千曲川水系)

仙仁川  
宇原川  
米子川  
灰野川  
松川  
樋沢川

二級河川

なし

(オ) 砂防指定地

溪流名	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
樽の沢	長野県須坂市大字仁礼字仙仁	0.10	昭47. 3. 1
山ノ神川	長野県須坂市大字仁礼字仙仁	0.10	昭47. 12. 27
仙仁川	長野県須坂市大字仁礼字仙仁山、湯ノ入、湯ノ前	21.28	昭55. 3. 29
上入沢	長野県須坂市大字仁礼字寺社平、日蔭小場、横尾、湯ノ前	0.45	昭56. 12. 23
宇原川	長野県須坂市大字仁礼字横沢	12.51	昭37. 10. 15
灰野川	長野県須坂市大字塩野字塩名	3.92	昭37. 12. 1
奈良川	長野県須坂市大字豊丘字奈良山	1.30	昭61. 9. 29
樋沢川	長野県上高井郡高山村大字牧字南町原、湯沢滝沢、鞠子	4.00	平 3. 3. 20



溪流名	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
松川	長野県上高井郡高山村大字牧字奥日影、中日影、日影山 長野県上高井郡高山村大字奥山田字山田入、牛久保、下牛久保、小屋場、古城	1,820.19	大7.7.2
	長野県上高井郡高山村大字牧字奥日影	376.77	昭10.3.16
鎌田川	長野県上高井郡高山村大字奥山田字厚朴坂	4.74	昭54.2.1

(カ) 地すべり防止区域

区域名	位 置	指定面積 (ha)	指定年月日
山田入下	長野県上高井郡高山村大字奥山田字山田入	10.20	平3.9.19

(キ) 鉱業権

なし

### 3 公園区域

#### (1) 公園区域の変更

上信越高原国立公園（須坂・高山地域）の区域の一部を、次のとおり変更する。

(表 1 : 公園区域変更表)

番号	区 分	変更部分の区域
1	拡張	長野県須坂市 大字米子の一部
2	拡張	長野県須坂市 大字仁礼の一部
3	拡張	長野県上高井郡高山村 大字奥山田の一部
4	拡張	長野県上高井郡高山村 大字奥山田の一部
5	拡張	長野県上高井郡高山村 大字奥山田の一部
6	拡張	長野県上高井郡高山村 大字奥山田の一部
7	拡張	長野県上高井郡高山村内 大字牧の一部
8	拡張	長野県上高井郡高山村内 大字牧の一部
9	削除	長野県須坂市 大字豊丘の一部

変 更 理 由	面積 (ha)
隣接する公園区域と同等の風景を有しているため、区域線の明確化に伴い公園区域に編入する。	33 (私 33)
隣接する公園区域と同等の風景を有しているため、区域線の明確化に伴い公園区域に編入する。	4 (私 4)
隣接する公園区域と同等の風景を有しているため、区域線の明確化に伴い公園区域に編入する。	4 (私 4)
隣接する公園区域と同等の風景を有しているため、区域線の明確化に伴い公園区域に編入する。	6 (私 6)
隣接する公園区域と同等の風景を有しているため、区域線の明確化に伴い公園区域に編入する。	7 (私 7)
隣接する公園区域と同等の風景を有しているため、区域線の明確化に伴い公園区域に編入する。	3 (私 3)
隣接する公園区域と同等の風景を有しているため、区域線の明確化に伴い公園区域に編入する。	2 (私 2)
区域線の明確化に伴い公園区域に編入する。	220 ( 公 203 ) ( 私 17 )
区域線の明確化に伴い公園区域から削除する。	△3 (私 △3)

番号	区 分	変更部分の区域
10	削除	長野県須坂市 大字豊丘の一部
11	削除	長野県須坂市 大字豊丘の一部
12	削除	長野県須坂市 大字塩野の一部
13	削除	長野県須坂市 大字米子の一部
14	削除	長野県須坂市 大字米子の一部
15	削除	長野県須坂市 大字米子の一部
16	削除	長野県須坂市 大字米子及び大字亀倉の各一部
17	削除	長野県須坂市 大字亀倉の一部
18	削除	長野県須坂市 大字仁礼の一部

変 更 理 由	面積 (ha)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△0 (0.1) (私 △0)
区域線の明確化を図るとともに、採石場の開発により国立公園としての資質が失われているため、公園区域から削除する。	△95 (私 △95)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△17 (私 △17)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△2 (私 △2)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△0 (0.4) (私 △0)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△3 (私 △3)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△30 (私 △30)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△13 (私 △13)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△10 (私 △10)

番号	区 分	変更部分の区域
19	削除	長野県須坂市 大字仁礼の一部
20	削除	長野県須坂市 大字仁礼の一部
21	削除	長野県須坂市 大字仁礼の一部
22	削除	長野県上高井郡高山村 大字奥山田の一部
23	削除	長野県上高井郡高山村 大字奥山田の一部
24	削除	長野県上高井郡高山村 大字奥山田の一部
25	削除	長野県上高井郡高山村 大字奥山田の一部
26	削除	長野県上高井郡高山村 大字奥山田の一部
27	削除	長野県上高井郡高山村 大字牧の一部

変 更 理 由	面積 (ha)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△0(0.4) (私 △0)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△23 (私 △23)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△23 (私 △23)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△3 (私 △3)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△2 (私 △2)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△4 (私 △4)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△19 (私 △19)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△4 (私 △4)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△0(0.2) (私 △0)

番号	区 分	変更部分の区域
28	削除	長野県上高井郡高山村 大字牧の一部



変 更 理 由	面積 (ha)
区域線の明確化に伴い、公園区域から削除する。	△2 (私 △2)
変更部分面積計	26 〔 国 0 〕 公 203 私 △177
変更前公園面積	13,116 〔 国 2,626 〕 公 1,916 私 8,574
変更後公園面積	13,142 〔 国 2,626 〕 公 2,119 私 8,397

※変更前公園面積は、再計測により得た値に基づくものである。

なお、再計測を行う前の上信越高原国立公園（須坂・高山地域）の面積は13,218ha（須坂市7,063ha、高山村6,155ha）である。



公園区域変更図位置図



